



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸  
(コード番号 5122 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛  
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 8 月 2 日付「平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,776	4.2	454	△26.4	805	△0.2	537	38.2
25年3月期第1四半期	16,093	3.3	617	22.5	807	15.2	389	△22.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,535百万円(—%) 25年3月期第1四半期 81百万円(△77.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第1四半期	円 銭 5.26	円 銭 —
25年3月期第1四半期	円 銭 3.72	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第1四半期	百万円 73,428	百万円 42,734	% 58.2
25年3月期	百万円 72,871	百万円 41,815	% 57.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 42,734百万円 25年3月期 41,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
26年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,200	0.7	950	△20.3	1,100	△20.5	600	△22.7	5.85
通期	71,000	1.4	3,050	△4.5	3,450	△11.4	2,100	△4.8	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
26年3月期1Q	5,183,078株	25年3月期	4,440,884株
26年3月期1Q	102,160,347株	25年3月期1Q	104,508,167株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	<u>P. 4</u>
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな経済・金融政策への期待感から、円高の是正や株価上昇など景況感に改善の兆しが見られました。しかしながら、欧州債務危機問題の長期化や中国をはじめとする新興国経済の減速などの影響により、依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと営業経費の削減に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰に加え、円安による燃料コストの上昇などにより一層のコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は167億76百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は4億54百万円(前年同期比26.4%減)、経常利益は8億5百万円(前年同期比0.2%減)、四半期純利益は5億37百万円(前年同期比38.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般用・工業用フィルムは、市況低迷のなか、新規需要の開拓により売上増となりました。建材工業用フィルムは、住宅着工件数の増加傾向から好調でしたが、工業用の在庫調整により売上減となりました。多層フィルムは、食品用は低調でしたが、産業用の需要回復により売上増となりました。ポリプロピレンシートは、販促品の受注取込により売上増となりました。農業用フィルムは、加工製品の減少により売上減となりました。壁紙は、前年並みに推移し売上横這いとなりました。フレキシブルコンテナは、従来の石油化学向けに加え、復興需要に対応したため売上増となりました。自動車内装材は、米国内での自動車販売が好調で売上増となりました。粘着テープは、小売用は堅調でしたが、一部製品の仕様変更により売上減となりました。工業用テープは、電子部品業界の在庫調整の長期化により売上減となりました。食品用ラップ等は、コンビニエンスストア・外食・ホテル等が回復傾向にあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は98億88百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は1億95百万円(前年同期比47.6%減)となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、薄物の販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、新規取扱店の獲得により売上増となりました。手袋は、産業用は低調でしたが、炊事用・医療用が堅調に推移し売上横這いとなりました。医療用品のうち滅菌器は、前年並みに推移し売上横這いとなりました。ブーツ・雨衣・安全靴は、新ブランドを上市し、売り場の拡販施策も進み、売上増となりました。シューズは、春物が好調で売上微増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は68億87百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は5億71百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

#### ③ その他

当セグメントの売上高は0百万円、セグメント利益は32百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は734億28百万円で、前連結会計年度末と比べ5億56百万円増加しております。

流動資産は417億94百万円で、前連結会計年度末と比べ7億94百万円の減少となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が18億11百万円減少し、商品及び製品が15億39百万円増加したことによるものです。

固定資産は316億34百万円で、前連結会計年度末と比べ13億51百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産2億36百万円、投資有価証券が10億43百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は306億94百万円で、前連結会計年度末と比べ3億61百万円減少しております。

流動負債は224億35百万円で、前連結会計年度末と比べ7億82百万円の減少となりました。これは主として、未払法人税等11億49百万円、賞与引当金3億51百万円が減少し、未払費用が7億90百万円増加したことによるものです。

固定負債は82億59百万円で、前連結会計年度末と比べ4億20百万円増加しております。これは主として、その他が3億55百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は427億34百万円で、前連結会計年度末と比べ9億18百万円増加しております。これは主として、その他有価証券評価差額金6億60百万円、為替換算調整勘定が3億27百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	8,994
受取手形及び売掛金	21,103	19,291
商品及び製品	<u>7,052</u>	<u>8,591</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,529</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,744</u>	<u>1,744</u>
その他	<u>1,964</u>	<u>1,668</u>
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	<u>42,588</u>	<u>41,794</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,603
無形固定資産	149	159
投資その他の資産		
投資有価証券	14,776	15,819
その他	<u>1,192</u>	<u>1,254</u>
貸倒引当金	△7	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,767</u>	<u>16,871</u>
固定資産合計	<u>30,282</u>	<u>31,634</u>
資産合計	<u>72,871</u>	<u>73,428</u>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	16,345
短期借入金	2,044	2,264
未払法人税等	1,273	124
賞与引当金	774	423
その他	2,570	3,277
流動負債合計	<u>23,217</u>	<u>22,435</u>
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
退職給付引当金	3,922	3,987
その他	2,916	3,271
固定負債合計	<u>7,838</u>	<u>8,259</u>
負債合計	<u>31,056</u>	<u>30,694</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	<u>24,461</u>	<u>24,614</u>
自己株式	<u>△1,495</u>	<u>△1,727</u>
株主資本合計	<u>36,373</u>	<u>36,294</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>5,873</u>	<u>6,533</u>
繰延ヘッジ損益	20	29
為替換算調整勘定	<u>△451</u>	<u>△123</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,442</u>	<u>6,439</u>
純資産合計	<u>41,815</u>	<u>42,734</u>
負債純資産合計	<u>72,871</u>	<u>73,428</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	<u>16,093</u>	16,776
売上原価	<u>12,552</u>	<u>13,415</u>
売上総利益	<u>3,540</u>	<u>3,361</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	723	740
その他の販売費	512	546
給料及び賞与	721	695
賞与引当金繰入額	133	149
退職給付引当金繰入額	36	38
貸倒引当金繰入額	0	—
その他の一般管理費	796	736
販売費及び一般管理費合計	<u>2,923</u>	<u>2,906</u>
営業利益	<u>617</u>	<u>454</u>
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	161	167
不動産賃貸料	101	100
為替差益	—	136
その他	38	17
営業外収益合計	<u>305</u>	<u>425</u>
営業外費用		
支払利息	15	3
不動産賃貸費用	40	32
為替差損	43	—
その他	15	37
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>73</u>
経常利益	<u>807</u>	<u>805</u>
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	—	46
特別利益合計	<u>6</u>	<u>46</u>
特別損失		
固定資産除却損	1	2
災害による損失	12	—
特別損失合計	<u>13</u>	<u>2</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>801</u>	<u>849</u>
法人税、住民税及び事業税	206	138
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	<u>133</u>	<u>173</u>
法人税等合計	<u>412</u>	<u>312</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>389</u>	<u>537</u>
四半期純利益	<u>389</u>	<u>537</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	389	537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482	658
繰延ヘッジ損益	△11	9
為替換算調整勘定	188	327
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△307	997
四半期包括利益	81	1,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	1,535
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,479	6,614	16,093	0	16,093	—	16,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	65	71	760	831	△831	—
計	9,484	6,679	16,164	760	16,924	△831	16,093
セグメント利益	372	585	958	29	988	△370	617

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△370百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,888	6,887	16,776	0	16,776	—	16,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	72	75	759	835	△835	—
計	9,891	6,959	16,851	759	17,611	△835	16,776
セグメント利益	195	571	767	32	799	△344	454

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△344百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△346百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121  
四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,776	4.2	476	△25.2	828	0.1	551	35.5
25年3月期第1四半期	16,103	3.3	637	26.5	827	18.0	407	△18.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,549百万円(—%) 25年3月期第1四半期 99百万円(△73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.40	—
25年3月期第1四半期	3.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	73,648	42,954	58.3
25年3月期	73,077	42,021	57.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 42,954百万円 25年3月期 42,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,200	0.7	950	△28.0	1,100	△27.2	600	△30.3	5.85
通期	71,000	1.4	3,050	△4.2	3,450	△17.0	2,100	△11.6	20.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	106,996,839株	25年3月期	106,996,839株
26年3月期1Q	5,183,078株	25年3月期	4,440,884株
26年3月期1Q	102,160,347株	25年3月期1Q	104,508,167株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな経済・金融政策への期待感から、円高の是正や株価上昇など景況感に改善の兆しが見られました。しかしながら、欧州債務危機問題の長期化や中国をはじめとする新興国経済の減速などの影響により、依然として先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような経営環境のなか、当社グループは引き続き、製造コストと営業経費の削減に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰に加え、円安による燃料コストの上昇などにより一層のコストアップが避けられない状況となりました。

結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は167億76百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は4億76百万円(前年同期比25.2%減)、経常利益は8億28百万円(前年同期比0.1%増)、四半期純利益は5億51百万円(前年同期比35.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 産業用製品

一般用・工業用フィルムは、市況低迷のなか、新規需要の開拓により売上増となりました。建材工業用フィルムは、住宅着工件数の増加傾向から好調でしたが、工業用の在庫調整により売上減となりました。多層フィルムは、食品用は低調でしたが、産業用の需要回復により売上増となりました。ポリプロピレンシートは、販促品の受注取込により売上増となりました。農業用フィルムは、加工製品の減少により売上減となりました。壁紙は、前年並みに推移し売上横這いとなりました。フレキシブルコンテナは、従来の石油化学向けに加え、復興需要に対応したため売上増となりました。自動車内装材は、米国内での自動車販売が好調で売上増となりました。粘着テープは、小売用は堅調でしたが、一部製品の仕様変更により売上減となりました。工業用テープは、電子部品業界の在庫調整の長期化により売上減となりました。食品用ラップ等は、コンビニエンスストア・外食・ホテル等が回復傾向にあり売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は98億88百万円(前年同期比4.2%増)、セグメント利益は2億17百万円(前年同期比44.6%減)となりました。

## ② 生活用品

コンドームは、薄物の販売が好調で売上増となりました。除湿剤は、新規取扱店の獲得により売上増となりました。手袋は、産業用は低調でしたが、炊事用・医療用が堅調に推移し売上横這いとなりました。メディカル製品のうち滅菌器は、前年並みに推移し売上横這いとなりました。ブーツ・雨衣・安全靴は、新ブランドを上市し、売り場の拡販施策も進み、売上増となりました。シューズは、春物が好調で売上微増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は68億87百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は5億71百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

## ③ その他

当セグメントの売上高は0百万円、セグメント利益は32百万円となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は736億48百万円で、前連結会計年度末と比べ5億70百万円増加しております。

流動資産は420億10百万円で、前連結会計年度末と比べ7億80百万円の減少となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が18億11百万円減少し、商品及び製品が15億17百万円増加したことによるものです。

固定資産は316億37百万円で、前連結会計年度末と比べ13億51百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産2億36百万円、投資有価証券が10億43百万円増加したことによるものです。

## ② 負債

当第1四半期連結会計期間末における総負債は306億94百万円で、前連結会計年度末と比べ3億61百万円減少しております。

流動負債は224億35百万円で、前連結会計年度末と比べ7億82百万円の減少となりました。これは主として、未払法人税等11億49百万円、賞与引当金3億51百万円が減少し、未払費用が7億90百万円増加したことによるものです。

固定負債は82億59百万円で、前連結会計年度末と比べ4億20百万円増加しております。これは主として、その他が3億55百万円増加したことによるものです。

## ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は429億54百万円で、前連結会計年度末と比べ9億32百万円増加しております。これは主として、その他有価証券評価差額金6億60百万円、為替換算調整勘定が3億27百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成25年5月10日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	8,994
受取手形及び売掛金	21,103	19,291
商品及び製品	<u>7,024</u>	<u>8,542</u>
仕掛品	<u>1,867</u>	<u>1,910</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,761</u>	<u>1,760</u>
その他	<u>1,841</u>	<u>1,537</u>
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	<u>42,791</u>	<u>42,010</u>
固定資産		
有形固定資産	14,366	14,603
無形固定資産	149	159
投資その他の資産		
投資有価証券	14,776	15,819
その他	<u>1,196</u>	<u>1,257</u>
貸倒引当金	△7	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>15,770</u>	<u>16,875</u>
固定資産合計	<u>30,286</u>	<u>31,637</u>
資産合計	<u>73,077</u>	<u>73,648</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	16,345
短期借入金	2,044	2,264
未払法人税等	1,273	124
賞与引当金	774	423
その他	2,570	3,277
流動負債合計	<u>23,217</u>	<u>22,435</u>
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
退職給付引当金	3,922	3,987
その他	2,916	3,271
固定負債合計	<u>7,838</u>	<u>8,259</u>
負債合計	<u>31,056</u>	<u>30,694</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	<u>24,674</u>	<u>24,841</u>
自己株式	<u>△1,495</u>	<u>△1,727</u>
株主資本合計	<u>36,586</u>	<u>36,521</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>5,866</u>	<u>6,526</u>
繰延ヘッジ損益	20	29
為替換算調整勘定	<u>△451</u>	<u>△123</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>5,435</u>	<u>6,433</u>
純資産合計	<u>42,021</u>	<u>42,954</u>
負債純資産合計	<u>73,077</u>	<u>73,648</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	<u>16,103</u>	16,776
売上原価	<u>12,542</u>	<u>13,392</u>
売上総利益	<u>3,560</u>	<u>3,383</u>
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	723	740
その他の販売費	512	546
給料及び賞与	721	695
賞与引当金繰入額	133	149
退職給付引当金繰入額	36	38
貸倒引当金繰入額	0	—
その他の一般管理費	796	736
販売費及び一般管理費合計	<u>2,923</u>	<u>2,906</u>
営業利益	<u>637</u>	<u>476</u>
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	161	167
不動産賃貸料	101	100
為替差益	—	136
その他	38	17
営業外収益合計	<u>305</u>	<u>425</u>
営業外費用		
支払利息	15	3
不動産賃貸費用	40	32
為替差損	43	—
その他	15	37
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>73</u>
経常利益	<u>827</u>	<u>828</u>
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	—	46
特別利益合計	<u>6</u>	<u>46</u>
特別損失		
固定資産除却損	1	2
災害による損失	12	—
特別損失合計	<u>13</u>	<u>2</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>821</u>	<u>872</u>
法人税、住民税及び事業税	206	138
過年度法人税等	71	—
法人税等調整額	<u>135</u>	<u>181</u>
法人税等合計	<u>413</u>	<u>320</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>407</u>	<u>551</u>
四半期純利益	<u>407</u>	<u>551</u>

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	407	551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482	658
繰延ヘッジ損益	△11	9
為替換算調整勘定	188	327
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△307	997
四半期包括利益	99	1,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	1,549
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,489	6,614	16,103	0	16,103	—	16,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	65	71	760	831	△831	—
計	9,494	6,679	16,174	760	16,934	△831	16,103
セグメント利益	392	585	978	29	1,008	△370	637

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△370百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,888	6,887	16,776	0	16,776	—	16,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	72	75	759	835	△835	—
計	9,891	6,959	16,851	759	17,611	△835	16,776
セグメント利益	217	571	789	32	821	△344	476

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△344百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△346百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。